

2022年12月1日
 発行/日本共産党市議団地域版
 自宅/市川市須和田2-12-3
 fax 047-705-6018
 携帯 090-6310-3294
 メールアドレス
 shimizu@jcp-ichikawa.com
 ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

清水みな子

あおぞらメール

No.148

12月議会 子育て世帯を応援 高校生までの医療費助成拡大



11月26日開催した市政懇談会

12月2日から、12月議会が開かれます。子育て世帯応援の提案がたくさん出されています。

9月議会の給食費の無償化に続き、女性団体が要望してきた、子どもの医療費助成が高校生まで拡大することが提案されました。但し、高校生拡大分は、償還払いとなります。また、ひとり親家庭は、自己負担額300円が無償となります。その他として、新型コロナウイルスウィルスワクチン健康被害見舞金が給付されます。これは、ワクチン接種後に副反応による健康被害で苦しんでいる市民がい

ることを重く受け止め、国の予防接種健康被害救済制度に申請する方に対し、市独自の見舞金を給付するものです。

地方創生臨時交付金を活用して、赤ちゃん健やか応援給付金が支給されます。0歳から3歳までの児童1人につき、4万5千円。市内には、対象が1万6500人います。児童手当を受給されている方は、申請が不要です。9月以降に転入した方や9月以降に出生した児童のいる方は申請してください。

私は一般質問で、地域から公園や緑地の要望が多数寄せられているので、いくつか質問します。

- ・じゅんさい池緑地の壊れたベンチの整備
- ・じゅんさい池緑地の東屋へのスロープ整備
- ・里見公園展望台の整備
- ・公園のトイレの洋式化
- ・堀之内緑地入口へのベンチの設置
- ・行徳の常夜灯公園の眺望施設の屋根の改善

田中市長に来年度の予算要望を提出

10月13日、「市民アンケート」に寄せられた、皆さんの声を取り入れた来年度の予算要望を、田中市長に提出し懇談しました。浅野ふみ子県議予定候補、泉せいじ、とくたけ純平市議予定候補も同行しました。

新型コロナウイルス感染は3年目となり、物価高騰、高齢者の医療費2倍化など、悲鳴があがっています。「市民アンケート」では「昨年より苦しくなった」と回答した方が5割を超えています。福祉、医療、

子育ての要望がたくさん寄せられました。

【各部への主な要望】

- 福祉部
 - ・コロナ禍で増加するDV被害者への相談体制の拡充
 - ・補聴器購入の補助
 - 保健部
 - ・コロナワクチン接種体制の一層の充実
 - 財政部
 - ・税金滞納者への差押えは慎重に行うこと
 - こども政策部
 - ・病児・病後児保育事業者への職員確保支援を行い、事業の拡充をはかること
 - 危機管理室
 - ・避難所の整備は国際基準に基づいて
 - 街づくり部
 - ・空き家の有効活用を進め、管理不全の危険な空き家の発生を防ぐこと

【市長との懇談の中で】

- ・通学路の安全対策
- ・公園の雑草除去
- ・インボイス導入の中止を国に求めること
- ・教員の未配置をなくすること
- ・公文書館の建設を検討すること



東総地区クリーンセンターを視察

DBO方式を採用して良いのか

11月1日、市議団3人で、市川市のクリーンセンター建て替え問題を考える参考に、DBO方式で稼働している東総地区



(銚子市・旭市・匝瑳市) クリーンセンターを視察しました。市川市のクリーンセンターもDBO方式を採用することになって

います。
※DBO方式とは…デザイン、ビルド、オペレートの略。施設の所有・資金調達は自治体、設計・建設・運営は民間事業者が委託する公設民営の一つの方式です。この方式を採用する自治体が増えている

ということです。

昨年4月に運転が開始された施設は清潔感があり、とてもゴミ処理施設とは思えない建物でした。子どもたちの見学コースは様々な工夫があり、ゴミ問題を考える学習施設にもなっています。「東総地区の小学校から見学がたくさん来ており、ゴミの分別など、家族と話し合うことで、ゴミの分別も進んでいる」と担当者話してくれました。また、DBO方式のデメリットとして、「20年

間の事業契約期間を終了した段階で、事業の継続性が見通せない」とことと説明され、安定性と継続性が求められる大規模な公共事業に、DBO方式を採用することに疑問を感じました。

市川市のクリーンセンターの建て替え予算は約400億円と言われています。人口が市川市の3分の1の東総地区3市で契約金額は366億8千万円です。400億円で済むのでしょうか。「市川斎場」の建て替えもDBO方式で進めようとしています。大規模な公共事業を民間にほぼ丸投げする方式を採用して良いのでしょうか。

今後、議会に提案されます。

日本共産党千葉県委員会

政府への予算要望を提出し各省庁交渉



10月21日、日本共産党千葉県委員会が、各地域からの要望をまとめ、各省庁交渉を行いました。

私は、午後からの国交省交渉に参加しました。事前に要望項目を提出し、回答をもらい、追加の質疑をするという進め方でした。

市川市の問題として「外環代替地の活用、側道部分の工事の進捗状況、樹木の植栽について」事前に質問。「外環代替地は、まだ側道部分の工事を行っているので残してある」「植栽については、いつ終わるのか分からない」という全く誠意のない回答でした。

「代替地に移る可能性がある世帯は、もう数件しかないのに、代替地をそのままにしておくのか。固定資産税も支払っていない。代替地は市に譲渡を」と訴えました。

無料法律相談

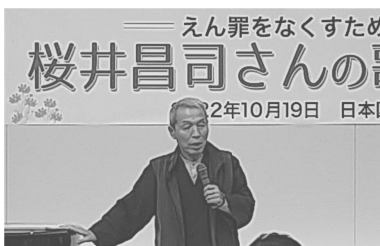
◎12月13日(火)
担当 土井太郎弁護士
◎1月はまだ決まっていません。問合せを。
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分。
予約は清水又は控室まで

《主な活動報告 10月》

☆10月12日 防災グッズ展覧会に

幕張メッセで開かれた「防災グッズ」展覧会に廣田議員と行ってきました。小学生などが持っている「防災頭巾」よりも、軽くて丈夫な素材でできたヘルメットなども紹介してもらいました。

☆10月19日 布川事件の桜井昌司さんの歌とお話 国民救援会主催。桜井昌司さんは、ガンの告知を受けても、「負けたまるか」と食事療法を徹底し、えん罪犠牲者の救済に力を注ぎたいと頑張っています。私たちが元気をもらいました。



☆10月25日 「市川なんでも相談会」

市川駅南口広場で開催しました。師走並みの寒さでしたが、事前に告知していたこともあり、相談者が後を絶ちませんでした。合わせて、食料品・日用品支援も行いました。



☆10月28日 新婦人市川支部が小組フェスタ

舞台では、フラダンスから始まり、朗読、ファッションショー、スコープ三味線など、日頃の成果を発表しました。また、壁には、絵手紙なども所狭しと展示されていました。

